

栃木県気候変動適応センター

国民参加による気候変動情報 収集・分析委託事業報告

栃木県環境森林部地球温暖化対策課 主査 山田 真里

国事業の概要

目的

- 地域気候変動適応センターの業務のノウハウ獲得
- 地域住民を巻き込んだ地域の気候変動影響に関する情報収集
- 分析結果を地域住民にフィードバック・普及啓発

1年目

情報収集による
地域の現状把握

2年目

特に重要な
課題を設定し
将来予測の準備
(課題は2つまで)

3年目

将来予測実施
(2年目の課題のうち一つ)
と
適応策の整理



普及啓発

センターに蓄積



地域適応センターが地域の特性を捉えた知見とセンター業務のノウハウを獲得

1年目事業

【R 1】県影響調査

国影響評価を基に、
栃木県の実情を踏まえた影響調査を実施
→重点的・優先的に取り組む分野・項目

農林水産業

水環境・水資源

自然生態系

自然災害

健康

産業・経済活動

県民生活・都市生活

重点的・優先的に
取り組む分野・項目



【R 2】国委託事業1年目（地域の現状把握）

取り組むべき地域課題について細やかに情報収集・検討

情報収集（及び普及啓発）

県民ワークショップ

- ✓ 様々な立場からの情報収集
- ✓ 今後取り組むべき課題検討

地域からの細やかな情報収集

高校生とユースとの協働

- ✓ 若者視点の情報収集

**将来を担う若者が
適応を考えるきっかけづくり**

小中学校への出前授業

- ✓ 家庭/教育現場からの情報収集
- ✓ 児童・生徒への啓発

学習教材化

分析

専門家ヒアリング・
文献調査による分析

2年目に取り組む
2課題を選定し
R 3事業計画立案

普及啓発

シンポジウム開催

啓発ツールの作成

R 3事業

県民ワークショップ

地域の気候変動影響情報を把握するため、県民・環境NPOを参加者としたワークショップを開催

概要

日時：第1回 10月22日（木）予定

（内容）気候変動と適応に関する基礎講義
身近な気候変動の影響を共有

第2回 11月25日（水）予定

（内容）第1回情報の整理・分析結果の共有
適応策について議論

講師：東京管区気象台・学識経験者

グループワークテーマ：「防災」「熱中症対策」「農業」

グループワーク参加者：各テーマに関わりの深い方・NPO



様々な立場の方から情報収集し、今後取り組むべき課題を検討

高校生とユースとの協働

主体的に活動を行う高校生とユース団体が連携し、
地域の気候変動影響情報を収集

⇒ 分析結果を踏まえて、さらなる活動につなげる

概要

日時：10～12月頃

対象：県立高等学校 1校

- ▶ 今後の活動を踏まえ、
ユース団体と連携しながら
高校生が活動テーマを決定
- ▶ 県・委託業者は
妥当性の確認等をサポート



小中学校への出前授業

小中学校で気候変動に関する授業を実施
学校・教育委員会等へのヒアリングも併せて実施
⇒ 教材化・自分事として考える社会づくりを目指す

概要

日時：11～12月頃

対象：県内の小学校 2校・中学校 1校を予定

内容：家族へのアンケートによる「今」と「昔」の違い

県内の気候変動影響や適応の状況

わたしたちができること

など



将来を担う若者視点の情報収集と適応を考えるきっかけづくり

分析・専門家ヒアリング

各事業で収集した気候変動影響情報は、
必要に応じて専門家にヒアリングしながら、妥当性や地域性などを分析



シンポジウム開催

基調講演
各事業の成果発表
講師・事業参加者によるパネルディスカッション などを予定



啓発ツール作成

各事業の成果や整理・分析した気候変動影響情報を
リーフレット等の啓発資材としてとりまとめる予定



地域適応センターの科学的知見の集積・県民等へのフィードバック